

市民協働推進モデル事業相互評価表

事業名	精神障がい者家族ピアサポーター事業		実施団体名	特定非営利活動法人 岡山県精神障害者家族会連合会	事業総額 (決算額)	407,428
			担当課名	こころの健康センター:土器 障害福祉課:鷹取		
NO.	評価項目		自己採点 (各項目20点満点)	評価の理由		
1	目的・課題 目標設定	当初に設定した目標を達成することができましたか？	16/20	<p>電話相談:目標100件。5月~2月44件。目標の半数に止まった。協働事業としては、5月~2月までの実質10カ月なので電話相談80回に設定しておいた方がよかった。</p> <p>家族サロン:目標60人。5月~2月で33名。前半の参加者は少なかったが、家族学習会終了後は利用が増加し、リピーターも出てきている。</p> <p>訪問相談:目標12人。今期は1人のみ。</p> <p>サロン新規参加者内訳: 電話相談⇒家族サロン(面接相談)⇒家族学習会 2名(内1名家族会に加入) 家族学習会⇒家族サロン 3名 電話相談⇒家族サロン 1名</p>		
2	発展性	さらなる発展や波及につながる成果を得られましたか？	18/20	<p>電話相談を経て、サロンに来られる家族もあり、徐々にではあるが、新規の参加者が出来ている。安心して何でも話し合える場として、リピーターも多数おられ、同じ悩みを持つ家族が集う場所としての価値が生まれている。</p>		
3	実現性	連絡調整、経理、報告など事業に関する事務は適正に行われましたか？	19/20	<p>事務処理は問題なく行えた。連絡調整に関しても、協働センターの協力の元スムーズに行えた。</p>		
4	成果	利用者、参加者をはじめ、市民の満足度向上につながりましたか？	18/20	<p>電話相談、面接相談を通して、相談者からのクレームは一度もなく、一応の満足は得て貰えたものとする。精神障害者を抱える家族に対して、家族ピアサポーター活動の情報を届ける手段が難しい。新聞媒体のような、誰でも手に入れることのできるメディアの協力が必要と考える。</p>		
5	協働効果	相互が役割と責任を担い、協働による相乗効果を生むことができましたか？	18/20	<p>こころの健康センター、障害福祉課、協働センターの的確な助言の元、安心して事業を行うことが出来た。</p>		
6	総合評価(実施団体より)		<p>どこにも繋がっていなかった家族が、電話相談や家族学習会をきっかけに孤立感を軽減し、正しい知識や対応を話し合い、家族同士の共感や支え合いが生まれてきている。家族ピアサポーター活動の広報の仕方には改善の余地が求められるが、通院の時に掲示してあるチラシを見たと言った家族もあり、さらに関係機関にも協力依頼を広めていく必要がある。平成29年度岡山市の自発的活動補助金事業を受託し、引き続き家族ピアサポーター事業を継続していく予定であるが、さらに家族ピアとしてのスキルアップと、事業の効果を広める努力が求められる。</p>			
	総合評価(担当課より)		<p>家族という同じ立場での支援は相談の敷居を低くし有効と考えています。行政だけではできないこのような取り組みを家族会と協働して行うことで、より当事者に身近で受けられやすくなり、効果的であると考えます。</p> <p>今年度の量的実績は目標値の半数という結果になっていますが、その点については今後のPRによりこの活動が普及・定着し、徐々に実績を上げていくものだと考えます。</p> <p>また、相談支援の質についても、ピアサポーター研修を充実しながらよりスキルアップされるものと考えます。</p> <p>初年度の実績としては、量・質ともに良好であったと考えます。</p> <p>今後もより多くの家族が家族ピアサポーターとしての研修を受け、活動を広げていってくれたらと思っています。そして、家族ピアサポーターの活動が、相談支援に留まらず、未だ根強く残っている精神障害者に対する差別・偏見の解消に向けて、自らの体験を語る等、体験者としての活動を期待しています。</p>			
	総合評価(ESD・市民協働推進センター)		<p>「ピアサポート」に対しての社会的認知も決して高くない状況において、その質的・量的拡充をはかる意欲的な事業となりました。平成28年度事業ではいくつかの目標数値を達成することはできませんでしたが、「家族」が支援する意義や専門家との役割分担などが行政と共有されたことは大きな前進であったと思われます。認知と成果の高まりに合わせて、相談やサポーターの必要性が高まると考えられるほか、「障がい者の地域定着」を促進するうえでもさらなる経験の蓄積とノウハウの体系化が必要になると思われるため、次年度以降も団体と担当課の情報交換を継続しつつ、成果を高めていただくことを期待しています。</p>			